



いよいよ体育大会

校長 小木曾敏樹

暑い暑い5月のグラウンドに、いよいよ明日、生徒たちの熱い思いが繰り広げられる。

4月半ば、新年度がスタートするとすぐに、生徒たちの活動は始まった。朝、登校するとすぐに。昼、給食が終わるとすぐに、3年生は大縄跳びを始めた。つられるように2年生、1年生もグラウンドに出た。

この頃、まだ体育大会の取り組みについて、生徒会からは何も下りていない。決まっているのは開催日が5月30日ということだけだ。しかし、生徒たちの心の中ではもうすでに体育大会は始まっていたのだろう。

この時期に体育大会を行うというのは、教員にとっては非常に厳しい。通常は、新しいメンバーで始まったクラスで、じっくりと学級づくりをしていく。しかし、小泉中では新年度が始まるとすぐに気持ちは体育大会モード。学級づくりや授業もある中、家庭訪問もあり、教育実習もあり、年度当初の会議や出張も多くある。しかし、体育大会に向けての準備も日々進めていかななくてはならない。特に担当の職員や異動で他校から小泉中に転入した職員には、時間的にも精神的にも随分無理をさせてしまっていることを申し訳なく思う。

日々形になっていくチームパフォーマンス(応援)や記録が伸びる大縄跳び、真剣さが増す競技、グラウンドから聞こえるかけ声の大きさ、そして、歓声……。生徒たちの一生懸命さと、仲間と一つになろうとするその思いが教員を支えているのかもしれない。

体育大会を実施しない学校もある。縮小して午前中に終わる学校もあるという。体育大会を個人種目記録会に変えていく学校も増えている。チームパフォーマンス(応援)を行わない学校も非常に多い。確かに、授業時間が確保され、落ち着いた生活があり、怪我や保護者からの苦情なども減り、職員の時間的・精神的負担も軽減される。

大切なこともメールで伝え、買い物はネットで行い、さみしさはゲームが癒してくれる生活の中で、長い時間をかけて苦労して、涙して得たことがいかに価値がありかけがいのないものなのかを知ることは、決して無駄ではないと思う。

明日、それを生徒たちが証明してくれる。

「チーム小泉中」……生徒と共にこの言葉を掲げられる日が来たらいいと思う。



保護者の方へのおねがい

- 1 熱中症に備え、保護者の皆様も十分に水分補給ができるようご準備ください。
- 2 地面が大変乾燥しており、競技中は砂埃が激しく舞い上がります。ご容赦ください。
- 3 閉会式後、「解団式」「学級活動」をグラウンドで行います。帰り支度等をされると思いますが、生徒の活動に支障をきたさぬよう、音、おしゃべりについて、御配慮をお願いします。
- 4 近隣の方にご迷惑がかからぬよう、車の運転や駐車について、御配慮をお願いします。